

「平成 30 年度 教員免許状更新講習」

1 趣 旨

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

2 事業の概要

(1) 期 日 平成30年9月22日(土)～24日(月)【2泊3日】

(2) 参加者 32名(島根県26名、鳥取県1名、広島県5名)

(3) 研修内容及び講師

講義①「学校教育活動と体験学習」(1時間30分)

安来市立第一中学校校長

村木 隆夫

講義②「子どもの成長期における体験活動の重要性」(1時間30分)

鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授

近藤 剛

講義③「自然体験活動の意義(目的)と子どもたちへの効果」(2時間30分)

鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授

近藤 剛

講義④「集団宿泊活動の現状と効果的な指導法」(1時間)

国立三瓶青少年交流の家事業推進係長

辻田 涉

実習①「ねらいに応じた野外炊事の理解と実際」(3時間30分)

国立三瓶青少年交流の家事業推進係長

辻田 涉

国立三瓶青少年交流の家企画指導専門職

武田 尚志

実習②「学級経営に活かせる体験活動の指導法」(3時間30分)

国立江田島青少年交流の家次長

杉本 克之

実習③「子ども達がワクワクする自然観察の技術」(3時間)

島根県立三瓶自然館「サヒメル」学芸課課長

井上 雅仁

履修認定試験(1時間30分)

(4) 日 程

| 日付 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---------|---|-----|-----|-----|----|--------|-----|-----|----|----|-------|----|----|
| 9/22(土) | | 受付 | 開講式 | 講義① | 休憩 | 講義② | 休憩 | 講義③ | | | | | |
| 9/23(日) | | 講義④ | 実習① | | | 休憩 | 実習② | | | 休憩 | 情報交換会 | | |
| 9/24(月) | | 実習③ | | | 休憩 | 履修認定試験 | 閉講式 | | | | | | |

3 事業の内容

①プログラムデザインと企画のポイント

本事業は教員免許状更新講習の選択領域「教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項」の履修を目的としている。主な対象は小学校教諭で、2泊3日の日程を通して、18時間分の講習を受講することができる。体験活動への理解がより深まるよう、講習の内容には、講義形式に加え、実習など、体験的な活動も多く取り入れた。

②運営のポイント

集団宿泊活動や自然体験活動を提供する施設の長所を活かし、野外炊飯や自然観察など、実際の活動を通して、指導のポイントや安全上配慮すべきことが学べるよう、講習内容を計画した。また、受講者がそれぞれの職場に持ち帰り、日常の指導に活かすことができる内容を重視し、人間関係づくりのためのアクティビティ体験や理論の学習を取り入れた。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-----------------|----|------|------|----|
| 講習の内容・方法 | 82 | 18 | 0 | 0 |
| 新しい知識・技術の習得について | 75 | 25 | 0 | 0 |
| 運営面 | 70 | 30 | 0 | 0 |

(2) 参加者の声

- ・学校の授業や野外活動で活用できるヒントをたくさん得ることができた。
- ・自然体験活動に自信がもてそうな気がした。自然や地域と関わる活動を積極的に取り入れたい。

5 成果と課題

《成果》

- ・昨年度からの引継ぎ内容や、受講者の感想を参考に、体験活動と、それに関わる理論を両方学べる研修を取り入れた。その結果、受講者から、多くの肯定的な意見を得ることができた。
- ・受講者同士が、宿泊やグループワーク、野外炊飯などを通して、次第に打ち解け、笑顔や会話も日に日に増えていった。受講者自身が自らの体験を通して、集団宿泊活動や自然体験活動への理解を、より深めることができたのではないかと考える。

《課題》

- ・昨年度は8月に実施し、定員35名に対して、17名の受講に留まった。今年度は、9月の三連休に実施し、32名の受講となった。受講者の感想では、8月の実施を望む声も多くあり、今後の実施時期については、所内で検討していきたい。
- ・2泊3日を通して、炊飯活動やアクティビティ体験などの体験活動を多く行った。受講者の評価は高かったが、最終日には認定試験もあり、一部の受講者には、若干の疲れも見受けられた。事業運営には、安全面など、細心の注意を払ったが、日程、内容ともに来年度に向けて検討し、さらによい学びの場としていきたい。



体験学習



野外炊飯



自然観察

(担当：企画指導専門職 武田 尚志)